

大手前大学が2021年度より1年生全員を対象に ノートパソコンの必携化を実施 学生のデジタル関連の基礎知識を高め、学びの質を向上

大手前大学(本部：兵庫県西宮市、理事長：福井要、学長：鳥越皓之)は、2021年度より1年生全員を対象にノートパソコンの必携化を実施いたします。

急速に進む高度情報化社会において、情報通信技術（Information and Communication Technology：ICT）を十分に使えることは必要不可欠となっています。一方、スマートフォンの普及により、できる限りスマートフォンで済ますという人も増えており、パソコン操作が得意でないという若者も多くなっています。このような背景から、学生のデジタル関連の基礎知識・スキルの向上を図るべく、2021年度より全新生は、自身で用意したノートパソコンの必携化を行うこととしました。

本学では、学生が自身の情報端末を利用して高度な教育・学習ができるような授業設計を担当教員が積極的に取り組み、各学部の授業、講義レポートの作成、ゼミでの発表、論文作成、学生発表原稿の作成など様々なシーンでパソコンを使用しています。しかし、これまでは一部の必要な授業のみノートパソコンを持参する、必要に応じて家でノートパソコンを使用したり、学内のデスクトップパソコンを使用したりという学生が多いという状態でした。この度、全授業においてノートパソコンを必携化することで、よりノートパソコンに触れる機会を増やしスキルを向上させるほか、ITを使用することでより質の高い学習環境の提供を行ってまいります。

また、SDGsの観点から授業で使用する資料や提出物のペーパーレス化の実現にも貢献します。

本学は今後も高度情報化社会において必要とされるデジタル関連の基礎知識を学生が身につけられるようサポートをしてまいります。

【大手前大学】

学長：鳥越皓之

設立年度：1966年

キャンパス：さくら夙川キャンパス、大阪大手前キャンパス

学部(学科)：総合文化学部※(総合文化学科)、現代社会学部(現代社会学科)、建築&芸術学部(建築&芸術学科)、健康栄養学部(管理栄養学科)、国際看護学部(看護学科)

※ 総合文化学部は2022年4月、「国際日本学部」に学部名称変更予定

通信教育課程：現代社会学部(現代社会学科)

大学院：比較文化研究科

学生数：5101名(2020年5月1日現在)

